建築物の言語描写における面の多義性

POLYSEMY OF PLANE IN TEXT DESCRIPTION OF BUILDINGS

北川啓介*, 黒田祐五**, 鳥居智之***
Keisuke KITAGAWA, Yugo KURODA and Tomoyuki TORII

Plane is a concept which has been dealt with as a basic constituent particularly in architecture. Plane is, in space, created on the surface based on the features and conditions of phenomena. Plane also exists mutually involved in those various phenomena on the surface. Architects image architectural space and characterize the space by using the concept of plane. From these backgrounds, a word: plane, which has been described for various meanings of words in terms of text description by architects. In this research, we analyzed text description of buildings by architects and finally define 19 types of polysemy of plane and their relationship.

Keywords : Polysemy, Plane, Text Description, Adjectival Term, Verbal Term
多義性, 面, 言語描写, 形容句, 作用句

1. はじめに

一般的に、面は建築物をはじめとする物の外側の部分や広がりを目指し、事物を捉える際に、その多くを視覚的情報に依存する我々にとって、それがもつ「もののおもて」や「ものの示す方向」といった意味において、密接な係わりもつ言葉である。J.J.Gibson は著書である『生態学的知覚論』¹⁾において、人が知覚できる実体のあるものを面 (surface), 人の認識によって捉えられる実体のないものを平面 (plane) と定義している。実体のないイメージから、実体としての建築を創造する建築家にとって、この2つの概念をもつ面という言葉は、建築領域の中で根幹となる要素であるといえる。

空間は様々な事象により成立している。事象の性質や状態の違いにより境目が生じ、そこに面が生まれる。面は、建築物における構成に加え、人や物、自然などの事物、光や音、人の活動などの現象の性質や状態をもち、そこに存在する様々な事象と相互に係わり合っている。建築家はそれら空間における諸要素に対して、面の概念を用いることで、空間を様々な性格づけてきた。また、特に建築家の設計活動の中で多分にみられる、空間を二次元に変換するという行為は、計画する空間に面の概念と強い結びつきをもたらしているといえる。そして、二次元から新たに空間が生まれる過程に

において建築家独自の面の概念が形成され、出来上がる空間はいわば面の概念の集積であるといえる。面に多様な概念が生まれる要因は、このような建築の創作過程からも伺える。このような背景により、現在までに面は、建築家による様々な解釈の対象としてその概念の幅を広げてきた言葉であることは自明であり、建築家の言説においても必然的に、多様な言語描写がされてきた言葉であるといえる。

以上より、建築家独自の認知・解釈をもとに建築空間における面の概念には、その性質や効果の担う役割の差異により多様な意味が形成されてきたといえる。そのため、建築家が面の概念を紐解くことで生じた多義性について論考することで得られる成果は、建築家が思考し、創作してきた建築空間についての言語描写を読み解くため、面の概念に対する思考・解釈の枠組みの一端を明らかにするとともに、面に対する建築家の論考を総合的な知見から再評価する上でも重要な指標になると考える。また、本稿ではこれまで筆者らが進めてきた建築分野における言葉の「多義性」^{2~4)}の研究を通して、それらの初源的な言葉における意味の枠組みに対する知見を蓄積していくことで、建築計画における普遍的な思想や通史的な建築のメカニズムを捉える一連の研究の一環として、建築物の言語描写における面の多義性について明らかにすることを目的とする。

* 名古屋工業大学大学院つくり領域 准教授・博士(工学)

** 名古屋工業大学大学院工学研究科
博士後期課程・修士(芸術)

*** 名古屋工業大学大学院工学研究科
博士後期課程・修士(工学)

Assoc. Prof., Tsukuri College, Graduate School of Engineering, Nagoya Institute of Technology, Dr. Eng.
Doctor Course Student, Graduate School of Engineering, Nagoya Institute of Technology, M. Fine Arts
Doctor Course Student, Graduate School of Engineering, Nagoya Institute of Technology, M. Eng.

2. 既往の研究

文学作品の読み取りから、空間描写の解釈を明らかにした研究として、建築分野以外のものである文学作品に着目することで、建築の概念を間接的に取り上げ、空間構成を考察することで、建築が生じてくる基盤である深層の意味を表出する働きをなす成り立ちを捉えている徐貴淑らによる研究⁵⁾が挙げられる。建築家の言説を扱う点、言語描写における修飾表現に着目し、分析を行う点については、既往研究と同じ立場をとっている。しかし、語句を特定し、その語句を意味付ける修飾句としての形容句、言語描写において作用的性質のもつ文節としての作用句という二つの要素から、語句同士の客観的な相関として分析を行っている点において既往と異なる。

また、空間の図式の研究として、空間構成における特定の体系が人に空間を認知させることに着目し、場所の概念、位置関係の規定から空間図式をモデル化した横山勝樹らによる研究⁶⁾が挙げられる。本稿では、あくまで言語描写から面の概念を捉えることを目的としており、実空間を対象に、図面や写真から空間構成を分析する研究とも異なる立場をとる。

3. 研究の流れ

- 以下に研究の流れを段階的に示す。
- 1) 本稿では、物の外郭をなす角のないひろがり、二次元の連続体、物の外側・おもて側、物の外部の平らな広がり、外面または表面、立体とその周囲の空間との境、顔に似せて作ったもの、及び空間に存在する建築物や自然などの具象的事物から概念的なものなどを含む抽象的事象の様々な事象との関わりについて描写された面を<面>^{注1)}とする。
- 2) 『新建築』⁷⁾に掲載された建築家の作品に対する解説文の中で建築空間と係わる<面>についての記述を研究対象とする(図1)。

新建築 1992 年 5 月号 1992 年セビリア万国博覧会日本館 安藤忠雄建築研究所 …橋を昇り切った人びとは、そこに立ち現れてくる広大な吹抜け、開放空間のエントランスギャラリーでさらなる新しい世界を思い描くことができるであろう。 そうした後、半透明膜が濾過する柔らかな光と木の柱、梁が構成する天井高17mあまりある大空間展示室でまず西洋とは異質の日本固有の空間に否応なく浸らされ、次に大小の展示空間を巡って降りてゆく過程で人は緊張感を高めながら日本の歴史を深さとして体験していくはずだ。	抽出語句	分類
	面の種類	膜【膜】
	形容句	[半透明]【明度】
	作用句	濾過する【抽出】
	抽出箇所	そうした後、半透明膜が濾過する・否応なく浸らされ、

図1 <面>の種類・形容句・作用句の抽出例

- 3) 研究対象から、空間における<面>として描写された語を<面>の種類として抽出する。研究対象内において<面>の種類に対して、性質・状態を表現する形容的な分節を形容句、動作・作用を表現する作用的な分節を作用句としてそれぞれ抽出する^{注2)}。例えば、文中において形容詞などで表現されるものは形容句とし、主述の関係など作用的性質のある文節や詳解・限定を与え、または受ける作用的性質のある文節を作用句とする。本稿における形容句・作用句とは、研究対象内で記述され、<面>と組み合わせることで、<面>の一側面としての意味を決定づける要素である。
- 4) 研究対象内の前後の文脈を判断基準としながら、その語句がもつ意味に応じて抽出したそれぞれの語句のカテゴリー分けを行い、

<面>の種類と形容句、<面>の種類と作用句においてそれぞれクロス集計を行う。カテゴリーの設定方法については、個人による独断や恣意を避け、妥当な分類基準を設定できるよう、複数の著者による合議制の親和図法³⁾を採用するものとする。

- 5) 並列化した語句を統計処理することで、見えにくくなった多数の語句の相互関係を総体的に把握するために、<面>の種類と形容句、<面>の種類と作用句においてそれぞれコレスポネンス分析³⁾を行い、分類同士の対応関係を整理する。また、本研究におけるコレスポネンス分析は、得られた散布図から読み取れる要素同士の結びつきに着目することに加え、その散布状況から<面>の概念実体を傾向として得るための解析と位置づける。
- 6) 5) で得られた<面>の形容句、作用句の特徴の組み合わせを基にすべての資料を相互に比較検討し、<面>がもつ側面を相対的に位置づけることで、<面>の多義性としての類型を導出する。また、得られた類型についてそれぞれ考察を行い、結論を導く。

4. 研究対象

本稿では、既報の「多義性」の研究と同様に、『新建築』を研究資料として選定した。対象期間は執筆者の作品に対する解説文の文責が明確であることから1950年から2009年までとしている(表1)。そして、研究資料に掲載された建築家自身の作品に対する解説文の中で、建築空間と係わる<面>について記述された1644事例を本稿における研究対象とする。

表1 年別研究対象数

年	対象数	年	対象数
1950～1954	49	1980～1984	194
1955～1959	53	1985～1989	176
1960～1964	40	1990～1994	136
1965～1969	72	1995～1999	214
1970～1974	101	2000～2004	257
1975～1979	120	2005～2009	232
		計	1644

5. 形容句と<面>の種類のコレスポネンス分析

抽出した<面>の種類を分類する(表2)。これにより、日本語の表記における漢字表現・平仮名表現・送り仮名の差異を解消し、空間内に描写された<面>の種類を考察する。なお、本稿では分類の過程において<面>の意味合いの傾向から大分類をしている。ただし、単に面と描写された語句については、それ自体が多くの意味合いを含むものであるため、大分類の対象としていない。

同じく抽出した<面>の形容句を分類する(表3)。形容句は言語描写内において、<面>の感覚や感情、状況や物理的側面を表現するはたらきをもつ形容的な修飾句であり、<面>の種類と組み合わせることで言語描写内での<面>の一側面を意味づける要素である。抽出した形容句を、その句のもつ意味合いに着目し、大分類を基に段階的に分類している。なお、分類の際に、共通の記述がみられないものについては、分析対象要素として加味しないものとする。

次に、抽出された形容句と<面>の種類をクロス集計した結果、延べ1602の組み合わせが得られ、これをもとにコレスポネンス分析を行い、分類の相関を整理した(図2)。そして、コレスポネンス散布分布図をゾーニングすることで解釈した結果、形容句と<面>の種類組み合わせは、構成により捉えられる<面>、性状により

表2 <面>の種類

	分類	定義説明	記述例	抽出数
一次元化	【面】	物の外郭を成す角のないひろがり	面	526
	【平面】	物体を真上から垂直に見下ろした形	平面	125
	【立面】	物体を真横から水平に見た形	立面/正面	56
	【断面】	物体を切断したときの最外部、切り口の形	断面/切断面	54
構成部材	【側面】	物体の横側にあたる部分	側面	11
	【壁面】	壁の一番外側にあたる部分	壁面/外壁面	223
	【屋根面】	屋根の一番外側にあたる部分	屋根面	16
	【天井面】	天井の一番外側にあたる部分	天井面	16
形状	【床面】	床の一番外側にあたる部分	床面/スラブ面	16
	【窓面】	壁または屋根に穿たれた開口部の外側の部分	窓面	10
	【妻面】	建物の側面や棟の方向に直交する面	破風面	5
	【曲面】	曲がっている厚みのない、厚みの少ない物体	曲面	87
自然	【斜面】	傾斜をもったものの一番外側にあたる部分	斜面/傾斜面	52
	【水面】	液体の一番外側にあたる部分	湖面/川面	28
	【地面】	大地の一番外側にあたる部分	地面	9
	【膜】	空間を隔てる薄い有機物	膜面/被膜	132
素材	【皮】	物体を覆っている有機物	面皮	34
	【布】	薄く広がりのある織物	幕	14
	【皮膚】	生物の体表を覆っている有機物	肌	4
	【境界面】	隣接するものを区切る面的な境目	境界面/結界	10
像	【スクリーン】	映像信号を表示するもの	スクリーン面	65
	【表面】	物体の最も外側の部分、外から目に付く部分	表面	50
	【表層】	物体の外側において重なりをもつもの	表層	8
	【ファサード】	建物の外側を構成する主要な側面	ファサード	73
形式	【顔】	物事の主要な一側面	顔	8
	小計			1644

図2 形容句と<面>の種類のコレスポンデンス分析散布図

捉えられる<面>、物性により捉えられる<面>の3つに整理できた。以下にそれぞれの傾向を構成するのに大きく起因している周縁部の要素の組合せについて述べる。

〔抽象〕は、【境界面】などと強い関連を示し、「曖昧な境界面」^{注3)}などの描写により、境界面と他の事象との関係性を捉え、<面>が建築物の関係性を構成しているものとして表現している。また、〔場所〕は、【境界面】などと強い関連を示し、「日本的な仕切り結界」^{注4)}などの描写から、特定の地位性との関連性を捉え、<面>の構成により特定の事象を連想するものとして表現している。これらは、構成により捉えられる<面>の性質が表現されているといえる。

〔緩急〕は、【斜面】や【曲面】などと強い関連を示し、「緩急配の斜面」^{注5)}などの描写により、形態変化の尺度を捉え、<面>の状態、

表3 形容句の分類

	分類	記述例	抽出数
形状	〔緩急〕	表情を変化させる効果もち、緩やかな曲面が未来的…	19
	〔薄厚〕	壁から浮かび上がったガラスの薄い被膜面を際立たせ…	16
	〔形状〕	サスペンション構造で、カテナリ状の曲面と中央に…	194
	〔粗滑〕	鉄筋コンクリートシェル構造の滑らかな曲面を内部の…	43
類型	〔イメージ〕	でつくった扇子の様な特徴的な構造＝天井面を形成し…	19
	〔多様〕	単純な輪郭のなかに仕掛けられたさまざまなガラス面…	19
	〔種類〕	3種類の表面仕上げにすることで石によるフローリン…	7
	〔同様〕	底はアルミの押し出し型材とし、同一断面を3段に重…	3
位置	〔相応〕	「ボルテ(門)」の名にふさわしいファサードを形成し…	3
	〔特異〕	としてつくられているので、独自の斜面がそこに形成…	18
	〔場所〕	常々感じていることだが、日本の天井面は蛍光灯に支…	18
	〔次元〕	滑らかな三次元曲面は、造船鋳鉄法の火炎と水による…	22
数量	〔方向〕	目線から見上げると垂直面のガラスの汚れが目につき…	197
	〔基準〕	建物の基本断面は、歴史に範を求めた形状をもとに、…	7
	〔数量〕	ズラしたり、傾けたりして、ひとつの大きな境界面を…	88
	〔寸法〕	pC版による箱と共に片側171mmの壁面が単調とならない…	42
状態	〔既存〕	同一面上に重ねたこと、連続する既存の壁面を同一素…	3
	〔部分〕	7m後退させ、全体の壁面が無理なく視界に入るよう…	43
	〔時間〕	天井のネオン照明は夜間のガラス面の反射により無数…	4
	〔合理〕	この建物は明解な平面計画と合理的な断面で機能的に…	5
実質	〔機能〕	その結果、面積効率のかなり良い機能的な客室平面を…	9
	〔意匠〕	それぞれ軸を持った装飾的な壁面が与えられファサ…	26
	〔虚実〕	何層にも仮想の平面を切り欠くことで、必要な部屋の…	5
	〔美醜〕	弱いため、四角い断面で直線のまま美しい曲面が可能…	8
刺激	〔工法〕	く見られる煉瓦平石積みのソリッドな壁面が重畳化し…	19
	〔人象〕	それは醜い人工の皮膜の下に変わらず残っていて、発…	3
	〔抽象〕	完全には透明にならない曖昧な境界面を生み出した…	9
	〔可動〕	遮光のために可動の幕が天井面に設けられ、柔らかい…	9
変動	〔新旧〕	ステンレス部品による新しい強化ガラスファサードが…	13
	〔繁簡〕	主屋と使用人棟でT字型の単純な平面を構成し、南は…	16
	〔規模〕	オフィスとしてできる限り大きな矩形平面を確保する…	118
	〔均質〕	どこまでも均質な面に変化をつけるというアイデアで…	6
自然	〔軽快〕	複層させることにより軽快なファサードを構成した…	4
	〔硬軟〕	長い年月を経たその硬い表面が、部屋のわずかな明り…	29
	〔素材〕	木製の平面は既存の設備類や老化した防水層を覆い保…	327
	〔明度〕	水平を強調させたその上の中間部は、陰影のある壁面…	60
性向	〔輝煌〕	パッチ合板の、その明るい色、固く光沢のある表面…	10
	〔色彩〕	漆喰のようなモノリシックな白い壁面、板壁の木目を…	43
	〔温冷感〕	触っても冷たさを感じないケミカルプラスト表面処理…	3
	〔耐性〕	耐候性をもった建築の表面を透明にし、あるいは鏡面…	6
その他	〔一連〕	分棟した建物を結び付ける要素は、一連の曲面が描く…	19
	〔均衡〕	の緊張には、軸線をずらした新たな対称の平面が干渉…	13
	〔階層〕	この建物も参道に面して何重ものファサードを重ねる…	18
	〔開放感〕	外に開かれている断面と、内にくらみをもつ断面が…	13
小計	〔中性〕	リズムを合わせて協奏する中性的なガラススクリーン…	3
	〔自然〕	緑の草面は均一の整った色彩に萌えてゆったりと大き…	17
	〔否定〕	ネガティブなファサードは、ミラーガラスのカーテン…	4
	〔自由〕	自立壁のように扱うことによって、自由な断面が計画…	11
小計	〔厳格〕	シンメトリカルでやや権威的なファサードを意図した…	7
	〔安穩〕	ヨーロッパ広場側へと大らかな曲面を描くガラスファ…	6
	小計		1602
	その他	繊細な/経済的な/無垢の/不変的/ユーモラスな/賑やかな/非建築的/モダニズム的/仮設的な/モアレの/社会的/映像性をもつ/刺激的な/ストイックな/<家>的/疲れ切った	

※その他の記述例は、共通の記述が少なく、どの分類にも属さないもの

※下線部は形容句の抽出箇所

※記述例の引用元『新建築』（上から）p.216,1993.2/p.124,2000.3/p.100,1998.1/p.175,2009.3/p.184,2005.9/p.196,1988.3/p.100,2007.4/p.208,2007.12/p.250,1994.5/p.210,1979.7/p.180,2005.8/p.187,2005.11/p.113,2001.9/p.119,2002.9/p.136,2008.8/p.77,2003.12/p.215,1984.6/p.274,1984.10/p.172,2004.9/p.312,1990.2/p.256,1971.5/p.240,1980.8/p.163,2007.11/p.89,2004.3/p.172,1966.8/p.78,2007.1/p.290,1992.8/p.231,1951.8/p.178,2003.5/p.53,2003.9/p.288,1988.6/p.168,1983.8/p.208,1999.4/p.177,2000.7/p.176,1997.6/p.154,2009.3/p.251,1996.3/p.177,2009.11/p.319,1989.8/p.194,1983.4/p.191,1967.2/p.178,1981.8/p.98,2004.8/p.232,1980.4/p.200,1996.9/p.171,1993.9/p.228,1989.10/p.250,1979.6/p.264,1989.6/p.109,2006.6

性状をより具体的に表現している。また、〔次元〕は、【曲面】などと強い関連を示し、「3次元的な曲面」^{注6)}などの描写により、<面>の広がりや存在を捉え、<面>を空間と同時に語ることで、座標的

な視点から表現している。これらは、性状により捉えられる〈面〉の性質が表現されているといえる。

〔薄厚〕は、【膜】などと強い関連を示し、「薄い皮膜」^{注7)}などの描写により、物質としての厚さを捉えることで、部材として〈面〉がもつスケールを印象的に表現している。また、〔明度〕は、【膜】や【表面】などと強い関連を示し、「透明な膜柱」^{注8)}などの描写に

より、光の透過性を捉えることで、何かを覆う〈面〉の視覚的特徴を表現している。これらは、物性により捉えられる〈面〉の性質が表現されているといえる。

6. 作用句と〈面〉の種類のコレスポネンス分析

抽出した〈面〉の作用句を分類する（表4）。本稿では、抽出した

表4 作用句の分類

	分類	記述例	抽出数		分類	記述例	抽出数	
移動・動揺	[遮断]	C …西面をできるだけ閉鎖する形をとった。	41	変容	[変形]	A 一日の間に光にの効果によって 面は微妙に変化する。	91	
		D 隣地からの視線だけを遮断する柔らかなスクリーン…				B ガラスブロックの壁面が <u>うねり</u> ながら内部空間を…		
	[変位]	C 東側正面の壁面と南西角の壁面を後退させ…	24		[展開]	A アルミの表層などが…を意図的に展開している。 …	4	
	[向合]	A このガラス面は…と正面から向き合っている。 …	15			C 五角形の短手断面を…で長手方向に展開したものに…		
		C 赤褐色の錆びた鉄のファサードに対面する。…			[透過]	C 半透明の面を透過した光や、鈍い反射光は柔らかい…	19	
[浮遊]	B 焦げ茶の壁面が延々と浮遊する風景をつくっている。	8	[適応]	A 外観と厚く深い軒とは周囲の山稜に照応させながら、…	4			
	C 厚みのない抽象的平面として空中に浮かせるには、 …			C 全体としては長方形の平面にびたりと納まるように…				
離合	[接着]	A アルミ幕がドームの内側にとりついている。	30	[対立]	A 大きなファサードはレアリズムの精神に反している。	16		
		C 層状ファサードを中高層棟の両側に取り付けることで、			C 古い壁面と刺激的に対立するオブジェとなり、 …			
	[拡散]	A テント幕は、音を反所・拡散し…、	5	[均衡]	A グレイのコンクリート面がよく似合うだろうと…	42		
		C 窓面などによって、 音の焦点をなくして、拡散させ、			C どぎつい壁面に釣り合うためと見れば、やむを得な…			
	[結合]	C 4つの…フレームを平行四辺形に多面で組み合わせ、	71	[利用]	A フレキシビリティのある平面が採用された。	78		
		D パネルを嵌め込まれた南立面は、 …			C 西側の斜面を利用してロックガーデンとし、東側の…			
	[連続]	B ジグザク型の平面は南北の景観を連続させる効果が…	26	[確保]	A 安定した被膜が得られず、	23		
		C ガラス面が…日常的な世界との連続を保っているが、			C できる限り大きな矩形平面を確保する一方で、都市…			
	[接触]	A 3面が外気に面する計画とし、 …	28	[設撤]	A 外に開かれている断面が交互に並列している	58		
		C 光庭は2面をオフィスに、2面をコアに接し、 …			C 東西に大きなガラス面を設けることとなった今回の…			
出沒	[実現]	A ネガティブなファサードは、 …によって実現される。	25	行動	[所有]	C シンメトリのファサードを保持するとは…	21	
		C 窓面は…によって始めて可能ならしめたいと…			[獲得]	A 南面が、…と落ち着いた空間を獲得するために、…	17	
	[抽出]	A 半透明の幕が濾過する柔らかい光と、…	6		[加工]	C ガラススクリーンが…に取り込んだりしているのは、	55	
		C たとえば表皮を殺して平滑にした色面を抽出したり…				A ブロック面は全てノセコートで防水した。		
	[出沒]	B 新しい立面、景観が出現するであろうことを期待…	52		[支持]	C コンクリートの表面を仕上げることでデザインが…	9	
		C その肌を露出することに見られているが…		A 広大な屋根面は…縁梁のスラストによって支持される。				
	[埋没]	C 電燈で床上30cmの壁面に埋込み取付けてある…	7	[塗布]	C ガラス面も透明ガラスリブによって支えられている。	8		
		C 3次元曲面の皮膜で包み込んでいる。 …			C スリットなど、人目につかない面に塗られた色が、…			
	[包围]	D 覆うテフロン幕をどのようにして…	141	[強調]	D 着色された大きな色面となって、…	28		
		C 全面を被覆するタイルとガラスブロックの連続表面…			A 軒枠で見切って南北面を強調し、 …			
自然	[被覆]	D 被覆されたガラス面がリズムカルな表情をつくり…	45	[表現]	C 壁面は…に塗りわけられ対立性をきわだたせている、	55		
		B 太陽の動きなどをその表面に刻々と映し出している。…			A 両側のベニア板面は端正さを表現するとともに、			
	[映写]	D 写し出されたミラーガラスの壁面を…	36	[復元]	C 切断した端面をわかりやすく表現することに腐心した。	6		
		A 間接照明の光により、曲面天井全体が淡く面発光し、			C 「明治生命館」の東面の立面を修復することとなった。			
	[光]	C 外壁面を漆喰塗にして蒸気を反射させ、 …	30	[予期]	A 4面が、 …られており、場内の劇的思索を暗示してい…	8		
増減	[増減]	A 自然と南面が増大してしまう。	4	心情	C 多孔質な被膜を想定して…	31		
	B 壁面を減らし金砂子をまいた襖の面を増すなどして、	76	[配慮]		A 北面は板のくさを考慮して、 …			
	[形成]		A 立てハゼ葺きが、ベコベコした感じの反射面を形成し、		31	C 全体の壁面が無理なく視界に入るように配慮し…	16	
		C 壁面はそれぞれ…と四種の壁パネルで形成され、	[設定]			A 3.6 mを基準とする立面とがきまり、		
	[分割]	C カーテン・ウォールの壁面を分割する方法には…	56		C 湾曲する壁面を設定し、その片側に土を盛ってスロ…	12		
		D グリッドに分割された被膜がその背後に…			[関与]		A スロープ面、…が、 集約され全体像へと依存している。	
	[生成]	A ガラスで壁面がつくられている。	11		[開放]	C 四面を正面として都市に参加できるよう設計しました。	31	
		C 三角形の各面が垂直面に対して…傾斜を生じることが、				C 南面を積極的に開放し、 …		
	[統一]	A 3面は窓の開口を統一し、…	7		[誘導]	D 開放された水平床面と開口は…	46	
		C 内壁はラワンベニヤの壁面で統一し、仕上は材質を生…				A カーブの側面は隅から内の方へ…ひきよせている。		
変容	[喪失]	A 鉄筋コンクリートの表面からは、 …を消し去った。	26		性状	B 壁面が子供たちの想像や遊びを誘発してくれれば…	11	
		C 柱はステンレスの鏡面で覆って存在感を消した。 …				A 同様に「シームレス」な表層が求められています。 …		
	[創出]	A この不連続な壁面は、 …と同じ関係性を発生させる。	19			[構成]	C 大きな梁断面を必要とするわけではあるまい。	57
		C 異なった表面を提供している。					A 背景となる部分は屏風状の凹凸の曲面で構成し…	
	[存続]	A …の平面は、この主殿造の面影を濃厚にとどめている。	7			B 単純な面と仕上げ材で構成され、 …	8	
[屹立]	C ガラス面をできるだけ高温に保つことによって…	20	[固有]		A 既存の道路と斜めに接する西壁面が建物の特徴付け…	7		
	A 4つの面が衝突するように立ち上がり…				C ガラス面でその境界を定義付けられるが、 …			
	D アトリウムの両側に屹立する“木”の大壁面は…		[有用]		A 湾曲するアルミの壁面は、構造的にも有利に働き、 …	8		
				小計				1609
その他	意味する/説明しきれる/保証し/生き続け/開発し/尊重する/こぼれ出す/融け/否定する/反省し/汚れ/飛翔し							

※その他の記述例は、共通の記述が少なく、どの分類にも属さないもの

※アルファベットAからDは作用句の種類、下線部は作用句の抽出箇所

※記述例の引用元『新建築』（左側上から）

p176.1963.6/p.149.1999.10/p.219.2000.3/p.234.1976.4/p.316.187.1986.4/p.335.1990.5/p31.1989.9/p.200.1996.6/p.136.2008.5/p.258.1989.3/p.193.1981.10/p.250.1974.9/p.167.1975.3/p.163.1981.3/p.10.1958.12/p.211.1992.5/p.228.1989.10/p.187.1998.8/p.143.1968.3/p.37.1958.7/p.196.1966.11/p.10.1954.2/p.324.1992.3/p.112.1999.1/p.198.1985.10/p.226.1983.4/p.248.1982.3/p.168.1983.8/p.210.1980.4/p.213.1980.2/p.187.1998.8/p.228.1992.6/1999.2.173/p.170.1995.10/p.230.1981.7/p.132.1950.5/p.75.1981.7/p.290.1981.2/p.10.1953.3/p.68.1955.10/p.171.1952.4/p.156.1984.10/p.224.1986.1/p.50.1955.11/1952.5/p.176.2004.9/p.259.1987.12/p.61.1956.11/p.70.1958.6/p.23.1959.7/p.245.1997.1/p.228.1952.5/p.286.1990.2/p.189.1981.1/p.131.2004.11/p.37.1956.2/p.60.2002.7/p.203.1971.6/p.47.1961.6/p.191.1967.2/p.12.1958.7/p.178.2003.5/p.170.1981.7/p.204.2007.10/p.24.1955.11/p.192.1991.2/p.192.1970.5/p.106.2001.9/p.165.1963.6/p.104.2005.1/p.429.1952.9/p.245.1975.1/p.38.1953.12/p.135.2009.5/p.215.1983.8/p.206.1997.1/p.91.2002.4/p.385.1951.12/p.75.2004.10/p.39.1959.12/p.182.1966.11/p.274.1984.10/p.23.1960.7/p.241.1981.2/p.207.1965.4/p.162.1951.5/p.176.1969.9/p.91.2007.4/p.256.1981.9/p.83.1955.5/p.67.1956.4/p.191.1997.3/p.48.

作用句を、その句のもつ意味合いに着目し、大分類をもとに分類している。この分類内において、＜面＞の種類と主述の関係のある文節をA、複文における副次的な主述の関係を構成している文節をB、＜面＞の種類から修飾を受ける文節をC、文章描写の中で＜面＞の種類に対して作用的性質の強い文節をDとして分類している。なお、分類の際に、共通の記述がみられないものについては分析対象要素として加味しないものとする。

次に、抽出された作用句と＜面＞の種類をクロス集計した結果、延べ1609の組み合わせが得られ、コレスポンド分析を行い、分類の相関を整理した(図3)。そして、コレスポンド分析散布図をゾーニングすることで解釈した結果、作用句と＜面＞の種類の組み合わせは、事象を位置づける＜面＞、高い存在価値をもつ＜面＞、空間を構成する＜面＞、高い計画性をもつ＜面＞の4つに整理できた。以下にそれぞれの傾向を構成するのに大きく起因している周縁部の要素の組合せについて述べる。

図3 作用句と＜面＞の種類のコレスポンド分析散布図

〔関与〕は、〔側面〕などと強い関連を示し、「傾斜した側面は、斜線制限に起因し」^{注9)}などの描写により、＜面＞の主体性や客体性を捉え、＜面＞が他の事象に影響を受けたり与えたりするものとして表現されている。〔開放〕は、〔床面〕などと強い関連を示し、「開放された水平床面注」^{注10)}などの描写により、建築物を構成する＜面＞の公開性を捉え、構成要素である＜面＞の建物内や地域における位置づけを表現している。これらは、＜面＞が事象を位置づけるものとして表現されているといえる。

〔誘導〕は、〔水面〕などと強い関連を示し、「セントローレンスの河面が、夕景にはモントリオールのビルにきらめく無数の灯りを映して、一瞬鮮やかに現実の世界を呼びもどす」^{注11)}などの描写により、空間を構成する＜面＞と人の感情や行為との係わりを捉え、＜面＞が人の行為を促すものとして表現されている。〔遮断〕は、〔皮膚〕などと強い関連を示し、「古皮質、旧皮質に隠蔽した」^{注12)}などの描写により、空間に存在する＜面＞の表側と裏側を捉え、境界となる＜面＞が必要としないものを断ち切るものとして表現されている。

これらは、＜面＞自体の存在が高い価値をもつものとして表現されているといえる。

〔接着〕は、〔皮〕などと強い関連を示し、「化けの皮がはがれ」^{注13)}などの描写により、物体を覆う＜面＞と物体との接続部分を捉え、＜面＞が物体の表面に付属されるものとして表現されている。〔包囲〕は、〔布〕などと強い関連を示し、「アルミパンチングメタルの半透明の膜が張り巡らされ」^{注14)}などの描写により、＜面＞の空間を構成する役割を捉え、＜面＞が外部環境から人を保護するものとして表現されている。これらは、空間を構成するものとして表現されている。

〔所有〕は、〔表層〕などと強い関連を示し、「特異な表層を持つ」^{注15)}などの描写により、建築物を構成する＜面＞のもつ性状を捉え、＜面＞が特徴的な意匠や性能をもたらすものとして表現されている。また、〔必要〕は、〔顔〕などと強い関連を示し、「新たな顔が求められた」^{注16)}などの描写により、＜面＞自体を要求される要素として捉え、要求に応える＜面＞が新たな付加価値をもたらすものとして表現されている。これらは、＜面＞が高い計画性をもつものとして表現されているといえる。

7. 形容句と作用句からみる＜面＞の多義性

前章までの形容句と＜面＞の種類のコレスポンド分析散布図のゾーニングによって得られた3つの意味の傾向と作用句と＜面＞の種類のコレスポンド分析散布図のゾーニングによって得られた4つの意味の傾向から、前者を縦軸、後者を横軸にもつマトリクスを作成し、全資料をプロットした(図4)。これにより、各研究対象の記述に含まれる形容句、作用句がどのような意味の傾向に属するかを整理するとともに、その組み合わせから、原文の記述内容を考慮し、合議制の親和図法により比較検討をすることで判別を行った。なお、研究対象のなかで、形容句と作用句の要素が共にコレスポンド分析散布図の原点付近に布置される組み合わせが延べ311みられたが、これらは類型を判断する上で影響がない要素であることから、図への表記は省略した。

以上により、建築物の言語描写における＜面＞の多義性として、少なくともA～Sまでの19の＜面＞を語義の類型として導き出すことができた^{注17)}。以下に、導出した多義について考察する。

Aは建築物における構成単位としての＜面＞である。このような＜面＞は、「大きなガラスの壁面はどこまでも広がる。」^{注18)}などのように、〔壁面〕が〔規模〕、〔方向〕などと組み合わせることで、建築物の水平方向における構成が表現されている。その上で、〔加工〕、〔支持〕、〔変形〕などと組み合わせることで、建築物の垂直方向や曲面での構成が表現されている。これにより、水平方向における＜面＞を建築物の構成単位として捉え、垂直方向や曲面に構築していき、部分の集合により建築物を構成している。

Bは対比における存在の強調としての＜面＞である。このような＜面＞は、「美しく小さな水面によって浮き立たせ」^{注19)}などのように、＜面＞が事象との対比的な関係により捉えられる描写である。材料や自然などの〔表面〕や〔水面〕が質感、硬度などの違いによる相対的な関係が表現されている。形容句の〔規模〕、〔方向〕が作用句の〔強調〕、〔関与〕と組み合わせることで、建築物の規模や方向性をより強調させている。

Cは歴史的付加価値の保持としての〈面〉である。このような〈面〉は、「既存の北側外観は全面外壁保存」^{注20)}などのように、建築物を構成するものとして描写され、【ファサード】などが、[規模]、[存続]などと組み合わせることで、〈面〉の時間軸やその土地がもつ歴史などが表現されており、建築物を構成する〈面〉の経年変化が、維持、制御されている。

Dは現象を映す表現媒体としての〈面〉である。このような〈面〉は、「浜名湖の湖面にその姿をうつしている」^{注21)}などのように、自然光など不定形な事象と係わるものとして描写され、【水面】などが、[映写]、[場所]などと組み合わせることで、光の反射性が表現されており、現象を映す表現媒体としての〈面〉を表現している。

Eは事象性を帯びる表現媒体としての〈面〉である。このような〈面〉は、「ジグザグのガラス面で写り込み」^{注22)}などのように、建築物としての〈面〉が、自然や風景などと係わるものとして描写されている。外部環境に接する【面】などが、[素材]、[映写]と組み合わせることで、自然や風景との視覚的な一体化、もしくは調和する表現媒体としての〈面〉が表現されている。

Fは関係性を構築する境界としての〈面〉である。このような〈面〉は、「傾斜した窓面などによって、音の焦点をなくして」^{注23)}などのように、〈面〉が事象間に関係づけるものとして描写されている。【窓面】などが[方向]、[喪失]と組み合わせることで、大きさや方向性をもつものとして〈面〉が捉えられ、関係性を構築する境界としての〈面〉を表現している。

Gは性能を付加する表層としての〈面〉である。このような〈面〉は、「“チタン”といわれる金属をタイルの表面に2度焼きをして蒸着させたもので」^{注24)}などのように、建築物の構成単位として、〈面〉自体が描写されている。材料における【表面】などが、[素材]、[加工]などと組み合わせることで、建築物を構成している素材が建築物に表層として納まるものとして表現されている。

Hは行為を制御する構成部材としての〈面〉である。このような〈面〉は、「タイルを貼った壁面が子供たちの想像や遊びを誘発してくれればと考えた。」^{注25)}などのように、〈面〉が事象と係わりを制御する働きのあるものとして描写されている。作用句が、〈面〉自体のもつ性質や状態などの特徴を意味付ける側面が強く、【壁面】などが、[素材]、[誘導]などと組み合わせることで、〈面〉自体が人に対して想像力や行動を喚起するものとして表現されている。

Iは秩序を創出する表層としての〈面〉である。このような〈面〉は、「ガラス面が元よりVERTUのブランドカラーに合っていた」^{注26)}などのように、建築物の構成に関わるものとして描写されている。【面】などが、[素材]、[均衡]などと組み合わせることで、建築物を構成する部分としての〈面〉が、秩序を創出する表層として表現されている。

Jは外部環境を調整する構造体としての〈面〉である。このような〈面〉は、「南・西面は外付けブラインドで遮光し」^{注27)}などのように、〈面〉が調整機能として描写され、特に外部環境と係わるものとして描写されている。外部環境に対する【スクリーン】などが、[方向]、[遮断]などと組み合わせることで、方向性や大きさを伴って外部環境と物理的に遮断するものとして表現されている。

Kは領域を限定する実体としての〈面〉である。このような〈面〉は、「庭に面する南面と西面の外壁面はすべて透明のガラスでエンク

ローズしており」^{注28)}などのように、作用句による影響が強くみられ、【壁面】などが、[方向]、[包囲]などと組み合わせることで、外部環境から生活を保護する境界として捉えられ、〈面〉が空間を覆う、あるいは、取り囲む構造体として表現されている。また、【壁面】が、[可動]、[設備]と組み合わせることで、〈面〉が内部空間における、プライバシーの保護、獲得や機能の分節を可能にする構成要素として表現されている。

Lは効果的な構造体としての〈面〉である。このような〈面〉は、「層状の平面はその利用に大きな強制力を発揮することとなり」^{注29)}などのように、〈面〉が構造体の性能を評価するものとして表現され、また、建築の構造的な安定性を確保する役割をもったものとして表現されている。【平面】などが、[階層]、[有用]などと組み合わせることで、建築物のなかで効果的な働きをする構造体としての〈面〉として表現されている。

Mは透過性をもつ実体としての〈面〉である。このような〈面〉は、「セラミックプリントの薄膜を通して」^{注30)}などのように、〈面〉自体が実体をもつものとして描写され、[素材]、[薄厚]などの形容句によって、それが限りなく厚みの少ない物体として捉えられた上で、[透過]といった作用句と組み合わせることで、建築空間において、〈面〉が様々な事象を透過するものとして表現されている。

Nは認識により出現する境目としての〈面〉である。このような〈面〉は、「鉄筋コンクリートの表面からは、その素材をあらわにした部分と打増しやペイントによるグラフィカルな衣をまとった部分との際立つ対比によって、打放しコンクリートの持つ必要以上の重量感を消し去った。」^{注31)}などのように、事象や事物同士の関係を捉えることで出現する認識の上での境目として描写されている。実空間の構成により捉えられる【表面】などが、[素材]、[喪失]と組み合わせることで、〈面〉が認識により出現する境目として表現されている。

Oは生産性を向上する構成部材としての〈面〉である。このような〈面〉は、「梁には2段構えの方杖方式を採用することで経済的な部材断面を求め」^{注32)}などのように、〈面〉自体の性能や役割が描写されている。【断面】などが、[経済]、[必要]などと組み合わせることで、〈面〉の建築計画における経済的側面、施工期間における作業効率の向上が捉えられ、施工計画上の諸条件に対する〈面〉の生産性が表現されている。

Pは空間性能に寄与する形状としての〈面〉である。このような〈面〉は、「ストライプ状に乳白色のフィルムを貼られた大ガラス面がスクリーンとして設定される。」^{注33)}などのように、【面】などが、[規模]、[設定]などと組み合わせることで、〈面〉の形状が建築空間に及ぼす効果が捉えられており、〈面〉が機能的な側面をもつものとして表現されている。また、[規模]、[配慮]などが組み合わせることで、〈面〉の形状が、建築空間の性能に大きく作用するものとして捉えられており、計画における慎重を期す検討事項として表現されている。

Qは計画過程における二次元化としての〈面〉である。このような〈面〉は、「南側は田園風景と対峙する400mの壁面を屈折させ、」^{注34)}などのように、〈面〉の環境に対する変容を描写している。形容句と作用句が組み合わせることで意味付けられる側面が強く、【壁面】などが、[寸法]、[変形]などと組み合わせることで、周辺

作用句にみる特徴															
事象を位置づける<面>				高い存在価値をもつ<面>				空間を構成する<面>				高い計画性をもつ<面>			
A: 建築物における構成単位				F: 関係性を構築する境界											
[加工][粗滑]7 [被覆][規模]3 [接触][寸法]1 [加工][部分]5 [被覆][形状]2 [分割][規模]3 [加工][規模]2 [被覆][色彩]1 [分割][寸法]3 [加工][方向]2 [強調][可動]1 [分割][機能]2 [加工][形状]2 [支持][形状]3 [分割][部分]1 [加工][温度]1 [支持][規模]1 [分割][工法]1 [加工][中性]1 [支持][寸法]1 [分割][多様]1 [加工][数量]1 [確保][方向]7 [出沒][工法]4 [浮遊][規模]1 [確保][規模]6 [出沒][規模]3 [浮遊][方向]4 [確保][自由]2 [出沒][部分]1 [増減][方向]1 [確保][形状]2 [出沒][寸法]1 [埋没][寸法]1 [確保][機能]1 [出沒][新旧]1 [埋没][方向]3 [確保][簡易]1 [結合][簡易]1 [埋没][数量]1 [変形][規模]11 [連続][規模]5 [変形][部分]4 [連続][部分]4 [変形][場所]4 [連続][形状]3 [変形][階層]2 [連続][基準]1 [変形][多様]2 [被覆][数量]9 [接触][部分]1 [被覆][部分]8 [接触][自由]1 [被覆][方向]8 [接触][工法]1 [被覆][寸法]3 [接触][規模]1				[均衡][方向]11 [創出][規模]2 [結合][多様]3 [均衡][輝煌]3 [創出][部分]1 [結合][寸法]2 [均衡][数量]2 [創出][基準]1 [結合][同様]2 [均衡][部分]1 [創出][方向]1 [結合][部分]1 [均衡][場所]1 [拡散][方向]1 [結合][開放感]1 [均衡][規模]1 [利用][工法]4 [結合][意匠]1 [喪失][方向]1 [変位][部分]1 [喪失][粗滑]1 [変位][規模]2 [遮断][場所]1 [結合][規模]4				[接着][意匠]1 [設微][方向]14 [接着][均衡]1 [設微][寸法]4 [接着][均衡]1 [設微][形状]4 [接着][形状]1 [設微][機能]3 [接着][方向]1 [接着][新旧]1 [接着][規模]1 [接着][包囲][新旧]1 [包囲][部分]1 [利用][部分]1				[復元][部分]2 [形成][多様]2 [生成][否定]1 [復元][場所]1 [形成][部分]2 [生成][規模]1 [復元][温度]1 [形成][場所]2 [生成][部分]1 [所有][規模]4 [形成][開放感]1 [生成][中性]1 [所有][部分]1 [形成][規模]1 [実現][規模]3 [所有][均衡]2 [形成][軽快]1 [所有][形状]3 [生成][多様]2 [形成][抽象]3 [生成][均衡]1 [形成][意匠]2 [生成][特異]1			
B: 対比における存在の強調				G: 性能を付加する表層				J: 外部環境を調整する構造体				O: 生産性を向上する構成部材			
[強調][規模]4 [強調][方向]4 [強調][工法]1 [強調][数量]1 [強調][粗滑]2 [強調][形状]3 [関与][形状]2 [関与][方向]2 [関与][規模]1 [関与][数量]1 [向合][規模]4 [向合][方向]3 [向合][方向]2 [固有][粗滑]1 [対立][方向]4 [対立][工法]2 [対立][形状]2 [対立][規模]2 [対立][部分]1 [対立][寸法]1 [対立][簡易]1 [対立][新旧]1 [対立][均衡]1 [対立][形状]2				[創出][形状]5 [構成][抽象]1 [利用][自由]1 [創出][粗滑]2 [塗布][部分]1 [利用][新旧]1 [創出][色彩]1 [塗布][規模]1 [結合][工法]2 [創出][機能]1 [塗布][機能]1 [利用][開放感]1 [利用][工法]1 [利用][機能]1				[獲得][規模]3 [獲得][方向]3 [獲得][基準]1 [設微][開放感]1 [透過][規模]1 [透過][開放感]1 [透過][粗滑]1 [透過][数量]2 [構成][開放感]2 [構成][多様]1				[必要][規模]2 [必要][合理]1 [必要][機能]1 [必要][粗滑]2 [必要][数量]2 [必要][数量]2 [復元][数量]1 [形成][工法]1 [生成][合理]3 [利用][寸法]11			
C: 歴史的付加価値の保持				H: 行為を制御する構成部材				I: 秩序を創出する表層				K: 領域を限定する実体			
[存続][方向]3 [連続][意匠]1 [存続][規模]1 [連続][意匠]1 [存続][部分]1 [連続][粗滑]1 [存続][意匠]2 [確保][粗滑]1 [存続][新旧]2 [統一][場所]3 [支持][数量]1 [変形][均衡]1 [確保][均衡]1 [変形][意匠]1				[誘導][規模]6 [誘導][工法]2 [誘導][方向]18 [誘導][部分]2 [誘導][開放感]3 [誘導][場所]1 [誘導][数量]12 [誘導][均衡]1 [誘導][機能]1 [誘導][形状]10 [誘導][寸法]1 [誘導][簡易]1 [遮断][形状]5 [遮断][意匠]1 [利用][否定]1 [利用][特異]1 [利用][意匠]5 [利用][多様]1 [変位][特異]1				[包囲][均衡]1 [適応][規模]2 [適応][工法]4 [適応][粗滑]1 [適応][形状]1 [均衡][多様]6 [光][意匠]1 [利用][均衡]1				[包囲][工法]2 [包囲][規模]6 [包囲][方向]2 [包囲][粗滑]3 [包囲][数量]2 [包囲][簡易]2 [包囲][形状]9 [包囲][寸法]1 [包囲][虚実]1 [包囲][意匠]1 [包囲][数量]1 [包囲][意匠]1 [抽出][粗滑]1			
D: 現象を映す表現媒体				I: 秩序を創出する表層				L: 効果的な構造体				P: 空間性能に寄与する形状			
[映写][形状]4 [表現][形状]7 [映写][方向]5 [表現][数量]5 [映写][部分]2 [表現][規模]3 [映写][場所]2 [表現][輝煌]3 [映写][工法]2 [表現][意匠]2 [映写][寸法]1 [表現][意匠]1 [映写][開放感]1 [表現][寸法]1 [映写][自由]1 [表現][簡易]1 [映写][粗滑]1 [表現][工法]1 [浮遊][形状]1 [接触][虚実]1 [表現][方向]8 [出沒][多様]1				[包囲][均衡]1 [適応][規模]2 [適応][工法]4 [適応][粗滑]1 [適応][形状]1 [均衡][多様]6 [光][意匠]1 [利用][均衡]1				[包囲][工法]2 [包囲][規模]6 [包囲][方向]2 [包囲][粗滑]3 [包囲][数量]2 [包囲][簡易]2 [包囲][形状]9 [包囲][寸法]1 [包囲][虚実]1 [包囲][意匠]1 [包囲][数量]1 [包囲][意匠]1 [抽出][粗滑]1				[預期][形状]2 [獲得][形状]2 [設微][数量]2 [設微][規模]7 [構成][規模]3 [構成][合理]1			
E: 象徴性を帯びる表現媒体				L: 効果的な構造体				R: 印象を付加する表層				S: 刺激による空間性の向上			
[映写][美醜]1 [表現][階層]1 [表現][一連]2 [表現][結合]1 [表現][自然]1 [表現][イメージ]2 [加工][安穩]1 [変形][自然]6				[獲得][一連]1 [接着][階層]3 [接着][人工]1 [包囲][次数]4 [包囲][イメージ]4 [包囲][美醜]1 [設微][次元]1 [構成][一連]1 [構成][次元]1 [構成][繊細]1 [構成][厳格]1				[接着][既存]2 [接着][美醜]3 [接着][イメージ]1 [接着][安穩]1 [設微][階層]1 [包囲][均質]1 [							

※注〔 〕は形容句の分類, []は作用句の分類, 数字はサンプル数を表す。図中網掛け要素は, コレスポンデンス分析散布図の原点付近に布置されたものを示す。

図4 形容句と作用句からみる<面>の多義性

環境に対しての面の存在や見え方を表現している。また, [方向], [配慮]などと組み合わせることで, <面>を特徴づけるものとして表現している。

Rは印象を付加する表層としての<面>である。このような<面>は, 「やや権威的なファサードを意図した。」^{注35)}などのように, <面>

の存在強度を付加する描写である。形容句により意味付けられる側面が強く, 【ファサード】などが〔厳格〕, [配慮]と組み合わせることで, <面>の存在感や厳格さが, 人に緊張感や圧迫感などの印象を付加するものとして表現されている。また, [素材], [配慮]などと組み合わせることで, ガラスなどの素材の透明感や透過光の柔ら

かい光が、〈面〉の印象を付加する表現をしている。

Sは刺激による空間性の向上としての〈面〉である。このような〈面〉は、「隣地からの視線だけを遮断する柔らかなスクリーンを考え」^{注36)}などのように、〈面〉と事象との係わりにより捉えられる描写である。【スクリーン】が、[硬軟]、[配慮]などと組み合わせたり、質感や感触、硬度などの違いによる刺激を与える〈面〉として表現されている。

8. 結論

本研究では、建築家の言語描写における面の多義性について、形容句、作用句及び描写内容から考察を行った。その結果、建築物における言語描写として19種の多義性を導き出すことができた。

建築物の言語描写における面は、形容句という側面からみると、面自体の建築物の構成単位としてのふるまいや硬さ、粗さなどの面の質感に関する描写により、物質性が強調され、具象化されることで実体として存在していた。その一方で、人が触れる、見るなどの触覚や視覚に対する面の触感において、柔らかな、滑らかななどの面の肌理に関する描写により、面の連続性が強調され、概念化されていくと同時に、面が空間認識や記憶、感情という人の内面に働きかけていた。作用句という側面からみると、事象との組み合わせに関する描写により、面は物理的な計画性や、空間あるいは場を形成するものとして存在していた。さらに、その事象との関係性において、対比的あるいは相対的な描写がされることによって、面がその他の事象を表現する主体となっていた。その一方で、面自体の変化に関する描写において、周囲の状況が面に変化をもたらし、あるいは面が周囲の状況に変化をもたらすことで、空間との間に高い相関関係をもった存在として表れていた。

以上のように、建築計画において、建築家独自の思想により解釈され、意味づけられ、言説として描写された面の多義性を明らかにすることができた。

謝辞

本稿を進めるにあたって、大井亮氏（株式会社スペース）、山梨岳美氏（名古屋工業大学大学院工学研究科博士前期課程）、森川祐喜氏（株式会社大林組）、坂口大史氏（名古屋工業大学大学院工学研究科博士前期課程）には資料、論文作成にあたり多大な御協力をいただきました。文末ではありますが、ここに記して感謝申し上げます。

注

- 注1) 本稿における〈面〉の定義は、広辞苑、大辞林、建築大辞典、日本語新辞典、辞林21、国語大辞典 言泉、新潮現代国語辞典、新明解国語辞典の「面（めん）」を参照し定義している。（参考文献8～15）
- 注2) 本稿では、〈面〉の種類、形容句、作用句を研究対象から抽出しており、これらの語の描写内容が表す意味と照らし合わせて結論を導出している。そのため、考察や図中における「」内の記述例では、抽出元となった研究対象を考察内容や図の表現内容に合わせて、品詞の活用の変換や文章の省略を行い例示しているが、文法上の表現を変えてもこれによる本稿の結論に対しての影響はないものとする。
- 注3) 堀場弘：ベイ・ステージ下田、新建築、p.114、2001.1
- 注4) 山下設計+リカルド・ボフィル：ラゾーラ川崎プラザ、新建築、p.125、2006.12
- 注5) 菊竹清訓：斜面の意味；新建築、p.214、1979.7
- 注6) 東京理科大学情報メディアセンター、新建築、p.205、1998.9
- 注7) 高砂正弘；森のトイレ 茨城氏青少年野外活動センター；新建築、

- p.166、2000.8
- 注8) 千葉市建設局建築部営繕課 A&T 建築研究所；千葉市花の美術館新建築、p.214、1996.2
- 注9) 千代田建築研究所；熊野市民会館；新建築、p.201、1972.3
- 注10) 村上徹建築研究所；鈴ヶ台の家、p.241、1981.2
- 注11) 武基雄；日本万国博EXP070への提言；新建築、p.201、1972.3
- 注12) 竹山実建築総合研究所；ホテル・リバー・トム、p.216、1974.1
- 注13) 大高建築設計事務所；静岡市農協センター、新建築、p.152、1971.2
- 注14) 長谷川逸子×今野裕一；ソフトとハードの間に、p.115、1995.1
- 注15) 山本理顕設計工場；プロジェクト 海の家、新建築、p.105、2007.2
- 注16) 毛網礦建築事務所；丸亀市立城乾小学校、p.181、1999.12
- 注17) 本稿における統計の性質上、サンプル数が著しく少ないものについてはコレスポンデンス分析の際に扱っていない。よって、元データの全てが本稿によって得られた19の類型に必ずしも当てはまらないものがないとは断定できないため、「少なくともA～Sの19の類型が認められた」と表現する。
- 注18) リヒアルト・ノイトラ；カルフォルニアのコンクリート住宅、新建築、p.242、1950.8
- 注19) 佐藤総合計画；今治市火葬場／すいふう苑、p.124、2005.3
- 注20) 清水建設一級建築士事務所；有楽町一丁目ビル、p.285、1990.2
- 注21) 芦原義信建築設計事務所；浜名湖サービスイリアレストハウス、p.167、1969.4
- 注22) 原広司+アトリエファイ建築研究所；ヤマトインターナショナル、p.148、1987.4
- 注23) 葉デザイン事務所；老人福祉施設三ダイヤル、新建築、p.200、1996.6
- 注24) 石本建築設計事務所；熊本県立自然科学館、p.212、1982.6
- 注25) 平倉直子建築設計事務所；あかり交番PART2、p.191、1997.3
- 注26) クラインダイサムアーキテクト；VERTU GINZA、新建築、p.129、2009.5
- 注27) 玉川地区活性化センター；若松信行+六本木久志／若松六本木設計、新建築、p.163、2000.3
- 注28) 丹下健三・都市・建築研究所；渋井邸、新建築、p.168、1976.9
- 注29) 高松伸建築研究所；江津市総合市民センター、新建築、p.189、1995.9
- 注30) 横総合計画研究所；国立国語研究所、新建築、p.66、2005.1
- 注31) 岩村和男+都市デザイン；日本老化学制御研究所、新建築、p.224、1986.1
- 注32) KAJIMA DESIGN: 時事通信ビル、新建築、p.86、2004.1
- 注33) 伊藤豊雄建築設計事務所；日黒Tビル、新建築、p.236、1990.10
- 注34) いすゞエステート+坂倉築設計研究所；CASA BELL OHIRA、新建築、p.143、2009.8
- 注35) 久米建築事務所；ニッセイ総合研究所、新建築、p.264、1989.6
- 注36) 日建設計；春日尚学ビル、新建築、p.149、1999.10

参考文献

- 1) J.J. ギブソン著、古崎敬、古崎愛子、辻敬一郎、村瀬旻訳：ギブソン 生態学的知覚論—ヒトの知覚世界を探る—、サイエンス社、1985.4
- 2) 北川啓介、内藤拓也、寺田享平：建築物の言語描写における光の多義性、日本建築学会計画系論文集、第680号、pp.2345-2353、2012.10
- 3) 北川啓介、米澤隆、大井亮：建築物の言語描写における透明性の多義性、日本建築学会計画系論文集、第686号、pp.791-799、2013.4
- 4) 北川啓介、米澤隆、加藤聖仁、山梨岳美：建築物の言語描写における〈間〉の多義性、日本建築学会計画系論文集、第692号、pp.2119-2126、2012.10
- 5) 徐貴淑：文学作品の空間描写における空間構成の「部分」と「全体」の関係に関する研究：三つの空間構成をケーススタディとして、日本建築学会計画系論文集、第489号、pp.241-247、1996.11
- 6) 横山勝樹、高橋鷹志：空間図式の研究：その1. 〈場所〉の概念による空間図式のモデル化、日本建築学会計画系論文報告集、第395号、pp.19-30、1989.1
- 7) 新建築社：新建築、1950.1-2009.12
- 8) 三省堂：大辞林、第3版、2006.10
- 9) 彰国社：建築大辞典、第2版、2002.6
- 10) 岩波書店：広辞苑、第6版、2008.1
- 11) 小学館：日本語新辞典、2005.1
- 12) 三省堂：辞林21、1993.7
- 13) 小学館：国語大辞典 言泉、第1版、1987.1
- 14) 新潮社：新潮現代国語辞典、第2版、2000.2
- 15) 三省堂：新明解国語辞典、第6版、2005.1

(2013年8月10日原稿受理、2013年12月17日採用決定)